



慶應義塾大学ビジネス・スクール

アニコム損害保険株式会社(A)

5

アニコム損害保険株式会社（以下、アニコム）は、東京海上火災保険株式会社（以下、東京海上）出身の小森伸昭社長が2000年に同僚2名と共に設立した無認可共済組合 anicom（動物健康促進クラブ）から出発した。anicomの由来は、「ani（命）+communication（相互理解）」=∞、つまり命あるものがお互いに理解し、ともに一つの目的に向かって力を合わせることで、これまで不可能と思われていたことが可能になるという小森の思いを表しており（図1）、それによる「ありがとうの拡大再生産」が経営理念である。2007年12月には金融庁からペット保険単種目の保険会社として初めて損害保険業免許を取得し「アニコム損害保険株式会社」に称号を変更した。2010年3月にはアニコムホールディングスが東証マザーズに株式上場を果たすなど、設立以来順調に成長している。2013年度末時点では、正味収入保険料は約180億円、経常利益6.3億円、正社員だけで約300名を抱え、ペット保険分野では他の保険会社を圧倒するリーディングカンパニーである（図2）。2014年6月には東証一部へ市場変更を行っている。また、アニコムでは、保険金支払データの分析を通じて、どうぶつがケガをしない、病気にならないための情報を提供するなど（家庭どうぶつ白書の発行）、飼い主の「涙」を減らし「笑顔」を生み出す保険会社を目指してペットのケガや病気の予防促進に取り組んでいる。

10

15

20

一方でペット保険市場は競合も多数参入し、成長の余地はあるものの、これまでのような爆発的な成長は見込めないステージに入りつつある。「ベンチャー」と「信頼される企業」のバランスをうまくとりながら、次のビジネスチャンスはどこに求め、どう仕掛けていくか、アニコムの挑戦には終わりが無い。

25

このケースは、慶應義塾大学ビジネス・スクールのクラス討論の基礎資料として清水勝彦教授の監修のもとM36の小河泰史、金原幸作、土田麻梨亜、萩野早が作成したものであり、経営上の適切もしくは不適切な状況処理を例示しようとするものではない。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話045-564-2444、e-mail:case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は<http://www.kbs.keio.ac.jp/>へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 清水勝彦、小河泰史、金原幸作、土田麻梨亜、萩野早（2015年5月作成）